

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

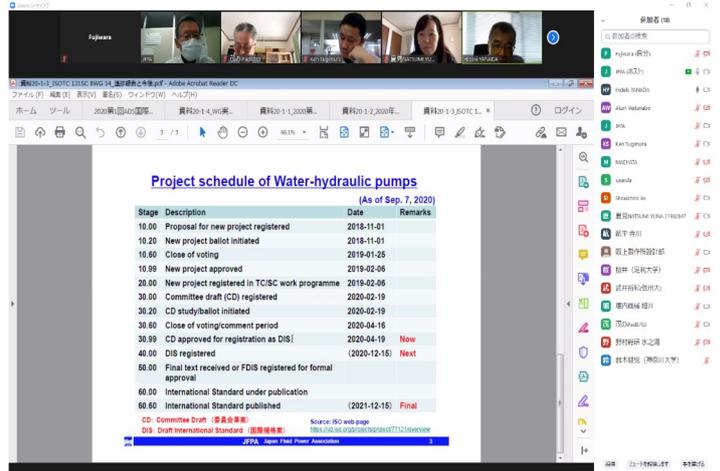
西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地

川崎重工業(株) 精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

2020年度第1回 ADS 国際標準化推進委員会の開催

ADS 国際標準化委員会は、水圧技術の国際規格案を作り ISO(国際標準化機関)に提案し、国際規格とするために2015年に設立し今年度で6年目に至っている。会議は5大学、6企業の連携で進められ、今年度は、令和2年度 省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業 再委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野))として、経済産業省・野村総合研究所からの委託を受けて活動を行っている。今回は、この新型コロナ対策として、初めてWeb会議方式とした。冒頭、池尾茂委員長(上智大学名誉教授)から、新型コロナの影響で今年度の最初の会議が半年遅れてしまったが、水圧ポンプの試験方法の標準化活動は、順調に進んでいる。今後も大変だと思うが頑張ってもらいたいとの開会の挨拶の後、



Web 会議での画面 (スケジュールの説明場面)

目 次

ISSN. 1345-2371

ADS 国際標準化推進委員会開催	1	広報・PR 関連事業	5
委員会開催・活動状況		会員ニュース	5
標準化事業/ISO 対策事業	2	工業会ニュース	6
標準化事業/規格事業	2	今後の主要行事予定	7
技術調査事業	5	統計資料	11

藤原総括（専務）から、最終年度に向けてのプロジェクトの進め方について話が合った。続いて、豊橋技術科学大学の柳田教授から ISO-TC131/SC8 WG14 報告として、水圧ポンプの試験方法に関する ISO での検討状況について、詳細な説明があった。具体的には、「4月に DIS 化への CD としての登録が承認され、その際 117 件のコメントがあった。6月24日に修正ドラフトを WG 内に回付し7月に同意され、新たに18件のコメントが追加された。修正内容は8月の第3回会議にて議論の後、合意を得た。次回10月23日の第3回会議にて、DIS 登録の合意が得られる予定。」との報告であった。その後、各大学から、WG で実施している試験の状況について報告があった。最後に、経産省産業機械課夏目係長、野村総研水之浦氏から引き続き着実に実施し、成果としてまとめ上げていただきたい等のコメントがあった。

~~~~~  
標準化事業/ISO 対策事業  
~~~~~

ISO/TC131/SC8/WG14 国際会議（WEB 会議）
日 時 8月28日（金）15:00~18:00
場 所 豊橋技術科学大学・会議室+リモート参加
出席者 柳田教授以下3名（うちリモート:2）
事務局 前畑
議 事

今年度の ISO 国際会議は、新型コロナウイルスの影響により、軒並み延期もしくは WEB 会議での開催を余儀なくされている。そこで、去る8月28日に ISO/TC131/SC8/WG14（水圧ポンプの試験）の WG 会議が WEB 会議にて開催された。

日本からは、柳田教授（豊橋技術科学大学：コンベンナー）、眞田教授（横浜国立大学：プロジェクトリーダー）、大野委員（JFPA：エキスパート）、前畑（JFPA：事務局）の4名が参加した。

会議では、CD 投票におけるコメントへの日本見解を説明・議論した。その結果、見解の修正を行い、DIS 原案に反映することで合意が得られた。
次回開催：10月23日、WEB 会議

* ISO の動き
投票に付されている ISO 規格案（FDIS, DIS）
（TC131）

ISO/FDIS 11171, Hydraulic fluid power - Calibration of automatic particle counters for liquids
ISO/DIS 6195, Fluid power systems and components - Cylinder-rod wiper-ring

housings in reciprocating applications - Dimensions and tolerances
（TC118）

ISO/FDIS 28927-13, Hand-held portable power tools - Test methods for evaluation of vibration emission - Part 13: Fastener driving tools

~~~~~  
標準化事業/規格事業  
~~~~~

油圧システム分科会

日 時 8月6日（木）13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 町田主査以下6名（うちリモート:5）
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、2019年度活動実績と2020年度活動計画について確認した。

次いで、本年開催の ISO/TC131 国際会議のスケジュールについて情報共有した。6月予定のロンドン会議及び10月予定のパリ会議はコロナウイルスの影響で中止となり、ウェブ会議での開催を調整中とのこと。

次いで、ISO_1219-3（Graphical symbols and circuit diagrams -- Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams）の JIS 化（JIS_B0125-3）について、原文と比較しながら原案作成作業を実施した。

次回開催：11月11日、機械振興会館+リモート参加

空気圧コンタミ分科会

日 時 8月7日（金）13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 田中主査以下4名（うちリモート:4）
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、2019年度活動実績と2020年度活動計画について確認した。

次いで、ISO/TC118/SC3 国際会議について情報共有した。10月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B8392-2（圧縮空気—第2部：オイルミストの試験方法）の改正について、改正内容の確認と修正作業を行った。

次回開催：10月2日、機械振興会館+リモート参加

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 8月25日(火) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 浅里主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、2019年度活動実績と2020年度活動計画について確認した。

次いで、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/NWIP_11619のNP投票可否のWG_Consultaion→Disagree_with_commentsで投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/SR/TS_11619→Revise/Amendで投票する方向で検討することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS B8381-1(空気圧用継手-第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手)の改正について審議した。前回に引き続き、対応国際規格と対比しながら修正作業を行った。
次回開催:11月13日、機械振興会館+リモート参加

空気圧バルブ分科会

日 時 8月26日(水)、13:30~15:00
場 所 械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 夏目主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件の新規投票案件について審議し、ISO/SR_19973-2→Revise/Amendで投票、ISO/SR_19973-5→Confirmで投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、ISO/SR_19973-2に関する日本提案について、提案内容の検討を行った。
次回開催:10月28日、機械振興会館+リモート参加

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 8月31日(月) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 難波主査以下5名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO/DIS_23369→Disapproval_with_comments、ISO/DTR_4813→

Approval、で投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B8356-2の改正について討議した。対応国際規格(ISO_2942)の変更箇所を確認し、JISの改正内容について討議した。本原案にて、規格協会様式調整提出すると共にJIS原案作成本委員会(9/29)にて審議することとした。
次回開催:10月29日、機械振興会館+リモート参加

油空圧シリンダ分科会

日 時 9月4日(金)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 渡部主査以下7名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO_21287改正可否→YES、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/CD_8132→Approval_with_comments、ISO/CD_8133→Approval_with_comments、ISO/DTS_13725→Disapproval、ISO/SR_19973-3→Abstain_due_to_lack_of_consensus、ISO/SR_6432→Confirm(暫定)、で投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B8366-2の見直しに関して審議した。本JISは廃止し、工業会規格(JFPS)で残すこととした。次回以降、原案作成に着手する。
次回開催:12月4日、機械振興会館+リモート参加

油空圧シール分科会

日 時 9月8日(火) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加
出席者 南主査以下10名(うちリモート:10)
事務局 前畑
議 事

委員の交代があり、中尾委員(NOK)から宗岡委員に、中島委員(TAIYO)から山田委員に、交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、新WG(SC7/WG10)の設置可否とコンベナー指名可否→Approve、で投票したとのこと。また、新規投票案件について

審議し、ISO/DIS_6195→Approval、で投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11 月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS 定期見直し検討依頼について討議した。対象案件 5 件について、改正必要 3 件、確認 2 件にて回答することとした。

次いで、JFPS_1003 (油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針) の改正について、校正の進捗状況を確認した。

次いで、Rmr に関するデータ計測の進め方について討議した。コロナ禍の状況下での工数捻出等困難な状況があるため、一旦中断することとした。

最後に、今後のテーマとして、高圧水素用 O リングの ISO 規格化、エラストマーシールの低温シール能力、JFPS 見直し案件を検討していくこととした。

次回開催：12 月 8 日、機械振興会館+リモート参加

空気圧システム分科会

日 時 9 月 23 日(水) 14:00~16:30

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加

出席者 鈴木主査以下 6 名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議 事

主査の交代があり、増尾主査 (CKD) から鈴木主査 (妙徳) に交代された。また、委員の新規参加があり、田中委員 (アトラスコプコ) が新たに参加された。

前回議事録の確認後、2019 年度活動実績と 2020 年度活動計画について確認した。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11 月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、ISO_1219-3 (Graphical symbols and circuit diagrams -- Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams) の JIS 化 (JIS_B0125-3) について、油圧システム分科会で審議中の原案を油圧システム分科会・町田主査から説明して頂き、その中で空気圧システムに関する部分について審議した。

次回開催：12 月 16 日、機械振興会館+リモート参加

油空圧継手・ホース分科会

日 時 9 月 24 日(木) 13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加

出席者 岩崎主査以下 6 名(うちリモート:6)

事務局 前畑

議 事

主査の交代があり、板井主査 (横浜ゴム) から岩崎主査 (イハラサイエンス) に交代された。

前回議事録の確認後、2019 年度活動実績と 2020 年度活動計画について確認した。

次いで、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/CD_9974-1 の 6 ヶ月延長→Yes、ISO/CD_11926-1 の 6 ヶ月延長→Yes、ISO/FDIS_10763→Approval、ISO/CD_1179-2→Approval、ISO/CD_12151-3→Approval、ISO/CD_12151-3 コメント PL 見解の是非→Agree、で投票したとのこと。

また、新規投票案件について検討した。投票案件が多数のため (定期見直し 11 件)、各委員で確認し、改正必要有無をアンケート形式で回答し、集約後、投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11 月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS_B2355-2 (対応国際規格: ISO_6149-2) の改正に関して、各分担の検討内容について、討議した。

次回開催：12 月 15 日、機械振興会館+リモート参加

空圧信頼性分科会

日 時 9 月 25 日(金) 13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート参加

出席者 妹尾主査以下 3 名(うちリモート:3)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、2019 年度活動実績と 2020 年度活動計画について確認した。

次いで、ISO 投票案件について、新規投票案件について審議し、ISO/SR_19973-1→Confirm、で投票することとした。

次いで、ISO/TC131 国際会議について情報共有した。11 月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS B 8672-1 (空気圧一試験による機器の信頼性評価-第 1 部: 通則) の改正について審議した。前回分担した範囲に基づき、対応国際規格 (ISO 19973-1) 原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催：12 月 18 日、機械振興会館+リモート参加

ADS 国際標準化推進委員会 (第 1 回)

開催日 9 月 28 日 (月)

出席者 池尾委員長以下 11 名
事務局 藤原、大野、前畑、大橋
議 事

2020 年度第 1 回目としての池尾委員長開会挨拶の後、議事に移った。

1. ADS 国際標準化推進委員会最終年度に際し

藤原専務より、標準化に関し、現在は ISO の 2 テーマを進めており、ポンプについては DIS 化を目指している段階であるとの紹介があった。

2. 2020 年度国際標準化推進・大日程計画(案)

事務局より、本年度委員会開催見込みの説明があった。

3. ISO-TC131/SC8 WG14 進捗報告

配布資料に基づき、柳田先生よりポンプ ISO の DIS 化の現状と今後の予定が報告された。4 月に DIS 化への CD としての登録が承認され、出された 117 件のコメント、及び 7 月に追加された 18 件のコメントについて、修正ドラフト対応を行った。今後、10 月 23 日開催の ISO 会議にて DIS 登録の合意が得られる予定である。

4. 2020 年度 WG-B, C2, D, E 実施内容と計画

配布資料に基づき、参加 3 大学の先生方から 4 テーマについて、本年度の実施内容と日程計画が発表された。また、今年度報告書のまとめ方の方針について質問があり、事務局より回答した。

次回開催：2020 年度第 2 回は 11 月開催を目処に別途調整する。

JIS 原案作成委員会

日 時 9 月 29 日(火) 13:30~15:30
場 所 機械振興会館 6-62 会議室+リモート参加
出席者 北川委員長以下 12 名(うちリモート:8)
事務局 前畑
議 事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、①JIS_B8356-2「油圧用フィルタ性能評価方法-第 2 部:フィルタエレメントの組立完全性試験及びファーストバブルポイントの測定」(フィルタ作動油分科会)、の JIS 原案について審議を行った。審議の結果、各委員からの指摘事項について修正した後、2020 年 11 月末までに日本規格協会へ提出することとした。

~~~~~  
技術調査事業  
~~~~~

技術委員会 水圧部会第 1 回幹部会
日時 8 月 5 日(水) 10:30~11:00
場所 Web 会議

出席者 5 名
事務局 大橋
1. 趣旨説明

事務局から、前回部会(2019/12/23)以降の部会長選出活動の経緯を報告し、今後の部会の取り組み内容案及び(仮称)幹部会による推進体制案を紹介し、議事に入った。

2. 意見交換と今後の進め方

推進体制についてはほぼ同意が得られ、部会に報告承諾を得ることとし、引き続き取り組み内容に関して意見交換を行った。

今後、何回か当体制での検討会を重ね、輪番制による推進役を立てて部会開催を実施することとした。

次回開催：8 月下旬の Web 会議を予定する。

技術委員会空気圧部会第 569 回特許分科会

日 時 8 月 21 日(金)
場 所 Web 会議
出席者 井野幹事以下 4 名
事務局 吉田
議 事

はじめに前回議事録の確認を行った。

5 件について引き続き調査を行うこととした。

2020 年度特許分科会運用計画、平成 31 年度活動報告について協議した。新型コロナウイルス感染症への対応として 3~7 月開催の会議は中止とし、8 月以降の会議は Web 会議を中心とすることとした。本年度会費は後期のみに変更した。

次回開催：9 月 18 日(金) Web 会議

技術委員会 水圧部会第 2 回幹部会

日時 9 月 14 日(月) 13:30~14:00
場所 Web 会議
出席者 4 名
事務局 大橋

新規参加の高橋委員(阪上製作所)の紹介の後、審議に入った。

1. 水圧部会議長選出

水圧部会の推進役を輪番制によることとし、第 1 回の議長(内田委員)、及び本日の議事録作成担当(井口委員)を選出した。

2. 活動計画

前回に引き続き、今後の活動内容と体制について意見交換を行い、当面、従来の MR と PR の 2 グループ体制で進めることとした。

3. 第 1 回水圧部会

前回の部会以降の市場動向情報を各社から収集し、市場マップへの展開準備を幹部会の MR 担当が行い、その資料を基に第 1 回 Web 会議を 10

月 E から 11 月 F の間で開催することとした。
第 3 回幹部会：10 月 F～M の間で日程調整する。

技術委員会空気圧部会第 570 回特許分科会
日 時 9 月 18 日 (金)
場 所 Web 会議
出席者 安田幹事以下 4 名
事務局 吉田
議 事

はじめに前回議事録の確認を行った。
5 件について引き続き調査を行うこととした。
2020 年度特許分科会予算、平成 31 年度活動報告について承認された。
次回開催：10 月 16 日 (金) Web 会議

~~~~~

#### 広報・PR 事業

~~~~~

第 128 回編集委員会 WG
日時 9 月 16 日 (水) 10:30 ~ 11:40
場所 Web 会議
出席者 宮主査以下 13 名
事務局 大橋
議 事

1. 新規提案内容の解説と記事化検討
空気圧シリンダ回路の省エネを狙いとしたアイデアについて北川顧問から説明を受け、意見交換の後、掲載時期を検討のうえ記事化を進めることとした。
2. VOL. 34, NO. 4 (秋号) 進捗
原稿管理表にて編集作業状況を説明した。順調に推移しており、最終の全頁校了 (念校) 段階にある。
3. VOL. 35 年間記事企画
2021 年の年間企画表にて、寄稿依頼状況及び特徴としての予知保全特集 (新年号から夏号までの全 12 記事) について説明した。また、依頼先未定の目次分類を紹介し、今後の提案を依頼した。
3. 記事提案
新規記事提案は 4 件あり、98th 編集委員会以後 NG となったものも 4 件ある。それぞれ提案者から説明を受け、以後、事務局にて年間企画に展開していくこととした。
4. その他
執筆要領書の 8 月改訂版を運用中であること、原稿料の支払いが従来の現金書留から銀行口座振込に変更になったこと、機関誌送付先の追加は、今回はないことなどを報告した。

・第 99 回本委員会：秋の開催は中止とし、2021 年 4～5 月の期間で日程調整する

・第 129 回 WG：11 月最終週～12 月初週で調整。

~~~~~

#### 会員ニュース

~~~~~

☆本社移転

2020 年 9 月 1 日付けにて、下記の賛助会員が本社の移転をされました。

会社名：ジャパン・アナリスト株式会社

代表者：太田昌久 代表取締役社長

所在地：〒252-0328

神奈川県相模原市南区麻溝台

1 丁目 12-1

電 話：042-749-7512

F A X：042-749-7513

☆賛助会員入会

下記企業が賛助会員として入会されました。

入会日：2020 年 3 月 18 日

会社名：扶桑チューブパーツ株式会社

所在地：石川県小松市矢田野町西 32-2

代表者：代表取締役 江村伸一

電 話：047-316-7733

主な製品：シリンダチューブ、アキュムレータ、配管バルブ

入会日：2020 年 8 月 3 日

会社名：ENEOS 株式会社

所在地：東京都港区港南 1-8-15W ビル

代表者：潤滑油販売部長 川崎靖弘

電 話：03-6456-5321

主な製品：工業用潤滑油、グリース

入会日：2020 年 9 月 18 日

会社名：株式会社カイバラ

所在地：奈良県大和郡山市額田部北町 1216-3

代表者：代表取締役社長 貝原剛

電 話：0743-56-2185

主な製品：銅合金及び鋳鉄の油圧部品の鋳造及び加工

~~~~~

#### 工業会ニュース

~~~~~

JIMTOF2022 出展に関するご案内

8 月 19 日 (木) に第 1 回協賛団体説明会及び記者発表を行い、JIMTOF2022 の概要発表を行いました。

今回の JIMTOF は会場として東・西展示棟に加え南展示棟を新たに利用し、過去最大規模で開催いたします。是非、出展をご検討いただけますようお願いいたします。

http://www.jimtof.org/files/guidetoexhibit_j.pdf

当会会員の皆様は協賛団体会員としてお申込みいただけます。

出展申込期間

2021年10月1日(金)9:00～10月31日(日)23:59

申込方法

JIMTOF公式Webサイトからのお申込みとなります。公式Webサイトに設置する「出展申込フォーム」より必要事項を入力し、お申込みください。

<http://www.jimtof.org/jp/apply.html>

皆様のご出展を心よりお待ちしております。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆10月14日(水) 中小企業委員会

(場 所) 機械振興会館

☆10月22日(木) 西日本支部総会

理事懇談会

(場 所) 神戸ポートピアホテル

☆10月23日(金) 西日本懇親ゴルフ会

(場 所) 六甲国際ゴルフクラブ

☆12月23日(水) 第32回政策委員会

(場 所) 機械振興会館

*2021年

☆1月13日(水) 年始会・第90回理事会

(場 所) 東京プリンスホテル(芝公園)

☆4月23日(金) 第91回理事会

(時 間) 15:30～16:50

(場 所) ザ・プリンスさくらタワー高輪

2F「コンファレンス」

理事会懇親会

同 上 17:00～18:30

2F「コンファレンス」

☆5月20日(木) 第22回定時総会

(時 間) 15:30～16:50

(場 所) 東京プリンスホテル

「サンフラワーホール」

総会後の懇親会

(時 間) 17:00～18:30

(場 所) 東京プリンスホテル芝公園

「マグノリアホール」

☆5月21日(金) 第60回JFPA 懇親ゴルフ会

(場 所) 詳細未定

~~~~~

8月9日に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

ISO/TC131/SC8/WG14 国際会議 (WEB会議)

開催日 8月28日(金)

出席者

委 員 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)

〃 眞田一志 (横浜国立大学)

〃 大野淳一 (JFPA)

(標準化事業/規格事業)

油圧システム分科会

開催日 8月6日(木)

出席者

主 査 町田哲治 (東京計器) ※

委 員 伊藤隆 (KYB) ※

〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)

〃 中川幸隆 (川崎重工業) ※

〃 久保光生 (不二越) ※

〃 三浦克基 (豊興工業) ※

※印はリモート参加

空気圧コンタミ分科会

開催日 8月7日(金)

出席者

主 査 田中崇行 (SMC) ※

委 員 三井康夫 (オリオン機械) ※

〃 藤原輝彦 (コガネイ) ※

〃 大嶽康行 (CKD) ※

※印はリモート参加

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 8月25日(火)

出席者

主 査 浅里信之 (ニッタ) ※

委 員 岩崎宏文 (イハラサイエンス) ※

〃 高梨暁人 (SMC) ※

〃 井戸田健 (CKD) ※

〃 細谷映之 (アオイ) ※

〃 八手又秀浩 (日本ピスコ) ※

※印はリモート参加

空気圧バルブ分科会

開催日 8月26日(水)

出席者

主 査 夏目清辰 (CKD) ※
委 員 山崎慎也 (SMC) ※
〃 田路渡 (甲南電機) ※
〃 石毛浩二 (TAIYO) ※
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ) ※
〃 鈴木一成 (妙徳) ※

※印はリモート参加

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 8月21日(木)
出席者
主 査 難波竹己 (日本ポール) ※
委 員 遠藤剛 (SMC) ※
〃 水落桂 (大生工業) ※
〃 大塚宏行 (油研工業) ※
〃 三好真介 (MORESCO) ※

※印はリモート参加

油空圧シリンダ分科会

開催日 9月4日(金)
出席者
主 査 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)
委 員 根本慎一郎 (SMC) ※
〃 脇 和文 (SMC) ※
〃 赤松直人 (甲南電機) ※
〃 塩田浩司 (コガネイ) ※
〃 上野朝嗣 (CKD) ※
〃 東川智信 (TAIYO) ※

※印はリモート参加

油空圧シール分科会

開催日 9月8日(火)
出席者
主 査 南暢 (バルカー) ※
委 員 中尾雅司 (NOK) ※
〃 宗岡祥平 (NOK) ※
〃 太田正貴 (阪上製作所) ※
〃 高牟礼辰雄 (JFPA) ※
〃 宮本博夫 (NOK) ※
〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ) ※
〃 北川泰章 (CKD) ※
〃 山田真の介 (TAIYO) ※
〃 真田秀幸 (日東工器) ※

※印はリモート参加

空気圧システム分科会

開催日 9月23日(水)
出席者
主 査 鈴木一成 (妙徳)
委 員 張本護平 (SMC) ※

〃 吉田典世 (甲南電機) ※
〃 寺木功一 (コガネイ) ※
〃 田中幸子 (アトラスコプコ) ※
特別参加 町田哲治 (東京計器) ※
※印はリモート参加

油空圧継手・ホース分科会

開催日 9月24日(木)
出席者
主 査 岩崎宏文 (イハラサイエンス) ※
委 員 梅津浩次 (油研工業) ※
〃 間口雄太 (ニッタ) ※
〃 辻田智 (日東工器) ※
〃 石井克昌 (横浜ゴム) ※
〃 横岡慎吾 (ブリヂストン) ※

空圧信頼性分科会

開催日 9月25日(金)
出席者
主 査 妹尾満 (SMC) ※
委 員 富田吉基 (CKD) ※
〃 眞田一志 (横浜国立大学大学院) ※

ADS 国際標準化推進委員会 (第1回)

開催日 9月28日(月)
出席者
委員長 池尾 茂 (上智大学)
委 員 眞田一志 (横浜国立大学)
〃 柳田秀記 (豊橋技術科学大学)
〃 桜井康雄 (足利大学)
〃 飯尾昭一郎 (信州大学)
〃 鈴木健児 (神奈川大学)
〃 高橋祐輔 (阪上製作所)
〃 杉村 健 (日本アキュムレータ)
〃 細井耕平 (堀内機械)

オブザーバー 夏見祐奈 (経済産業省)
オブザーバー 水之浦啓介 (野村総合研究所)
学生聴講 渡辺あかり (信州大学)
〃 武井裕紀 (信州大学)
〃 寺川航平 (信州大学)

JIS 原案作成委員会

開催日 9月29日(火)
出席者
委員長 北川能 (東工大名誉教授)
委 員 香川利春 (東工大名誉教授)
〃 安田正一 (経済産業省)
〃 渡邊康博 (日本規格協会) ※
〃 大槻文芳 (日本工作機械工業会)
〃 菊地治彦 (芝浦機械) ※

- // 中野喜之 (パナソニック) ※
- // 難波竹己 (日本ポール) ※
- // 遠藤剛 (SMC) ※
- // 三好真介 (MORESCO) ※
- // 水落桂 (大生工業) ※
- // 大塚宏行 (油研工業) ※

※印はリモート参加

(技術調査事業)

技術委員会 水圧部会第1回幹部会

日時 8月5日(水)

出席者

- 委員 大林義博 (KYB)
- // 内田 晃 (日本アキュムレータ)
- // 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- // 田邊康弘 (廣瀬バルブ工業)
- // 細井耕平 (堀内機械)

技術委員会空気圧部会第569回特許分科会

開催日 8月21日(金)

出席者

- 幹事 井野雅康 (SMC)
- 委員 河野喜之 (甲南電機)
- // 安田善仁 (甲南電機)
- // 細田一也 (CKD)

技術委員会 水圧部会第2回幹部会

日時 9月14日(月)

- 委員 内田 晃 (日本アキュムレータ)
- // 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
- // 田邊康弘 (廣瀬バルブ工業)
- // 高橋祐輔 (阪上製作所)

技術委員会空気圧部会第570回特許分科会

開催日 9月18日(金)

出席者

- 幹事 安田善仁 (甲南電機)
- 委員 井野雅康 (SMC)
- // 今野英俊 (コガネイ)
- // 細田一也 (CKD)

(広報・PR関連事業)

第128回編集委員会WG

開催日 9月16日(水)

出席者

- 主査 宮 能治 (KYB)
- 副委員長 水野純一 (CKD)
- 顧問 (オブザーバ) 北川 能 (元東工大)
- 委員 本間伸一 (SMC)
- // 豊田敏久 (川崎重工業)

- // 小辻一雄 (コガネイ)
- // 中垣智英 (甲南電機)
- // 松島嘉則 (阪上製作所)
- // 永坂光洋 (シェル ルブリカント ジャパン)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<8月>

- 5日(水)
 - ・技術(委)水圧部会幹事会
- 6日(木)
 - ・標準化(委)油圧システム分科会
- 7日(金)
 - ・標準化(委)空気圧コンタミ分科会
- 21日(金)
 - ・技術(委)空気圧部会第569回特許分科会
- 25日(火)
 - ・標準化(委)空気圧継手・チューブ分科会
- 26日(水)
 - ・標準化(委)空気圧バルブ分科会
- 31日(月)
 - ・標準化(委)フィルタ・作動油分科会

<9月>

- 4日(金)
 - ・標準化(委)油空圧シリンダ分科会
- 8日(火)
 - ・標準化(委)油空圧シール分科会
- 14日(月)
 - ・技術(委)水圧部会幹事会
- 16日(水)
 - ・広報・PR(委)編集委員会WG
- 18日(金)
 - ・技術(委)空気圧部会第570回特許分科会
- 23日(水)
 - ・標準化(委)空気圧システム分科会
- 24日(木)
 - ・標準化(委)油圧継手・ホース分科会
- 25日(水)
 - ・標準化(委)空気圧信頼性分科会
- 28日(月)
 - ・標準化(委)ADS国際標準化推進委員会
- 29日(火)
 - ・標準化(委)JIS原案作成委員会

~~~~~

工業会から

~~~~~

* 発刊予定：2021年3月予定（発送予定2021年4月）

☆韓国による日本製空気圧伝送用バルブに対するアンチダンピング課税措置は、2020年8月19日午前0時をもって、撤廃されました。

これは、これは、韓国が平成26年2月21日から日本製空気圧伝送用バルブに対するアンチダンピング課税調査を開始し、平成27年1月20日に韓国は日本製空気圧伝送用バルブのダンピングによって韓国の国内産業が実質的な損害を受けている旨の最終決定を行い、平成27年8月19日から課税を開始しましたことに基づき、当工業会が日本政府に対して、アンチダンピング協定（1994年の関税及び貿易に関する一般協定第6条の実施に関する協定）に違反するとして、対応を要請したものである。日本政府の申立てに基づき、同措置はWTOで審理され、令和元年9月10日、WTO上級委員会はWTOアンチダンピング協定に整合しない措置であるとして、WTO紛争解決機関から韓国に対し是正が勧告された。韓国は本年5月30日までに是正措置をとる旨、日本と合意し、対外的に以下の発表を行いました。本アンチダンピング措置の再調査を行い、協定不整合であった部分を是正したうえで、課税を継続する。本アンチダンピング措置は、5年の期間が満了する今年8月19日午前0時をもって終了する。本アンチダンピング措置は、上記発表の通り、正式に撤廃されました。

<https://www.meti.go.jp/press/2020/08/20200819001/20200819001.html>

☆工業会 HP リニューアル

工業会のHPをより使いやすくするために、会員のページを中心にリニューアルいたしました。より多くのご活用をお願いします。

☆訃報

黒田精工(株)最高顧問黒田彰一氏は、9月30日に96歳で永眠されました。心からお悔やみ申し上げます。なお、後日状況が許せば、お別れの会を別途執り行うとのことです。

☆2020年版「実用油圧ポケットブック・実用空気圧ポケットブック」購入予約募集開始

事前予約を開始いたしましたので、ホームページ記載の手続きにより、貴社（含む個人、代理店、営業所、顧客等）のご購入予約数をおとりまとめの上、予約申込書にてお早めにお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
